

令和8年 第4回人吉市立学校のあり方検討委員会会議録

令和8年5月8日（金）午後2時00分～
人吉市保健センター2階 多目的室

～ 次 第 ～

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 人吉市教育委員会あいさつ
- 4 議事
 - (1) 前回までの振り返り
 - (2) 前回までの質疑等に対する回答（説明）
 - ア 「義務教育学校」と「小中一貫校」
義務教育学校と設置する場合のパターン
 - イ 複式学級のメリットとデメリット
 - ウ あさぎり町立あさぎり中学校開校時の状況
 - (3) 児童生徒数・学級数・教職員数の直近3か月推移と人口推計
 - (4) 意見交換
 - (5) 質疑応答
- 5 本日の総括（委員長）
- 6 その他
 - (1) 令和8年度の委員会開催等スケジュール
- 7 閉 会

< 午後2時00分 開会 >

1 開会

杉本 係長

人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例施行規則第5条第2項により、委員の過半数の出席をいただいているため、本会は成立することを宣言します。

ただいまより、令和8年第4回人吉市立学校のあり方検討委員会を始めます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 委員長あいさつ

八幡 委員長

2か月半ぶり、年度が改まり、一部の委員の方は交代となった方もいらっしゃるのではないかと思います。本日の議事では、前年度の振り返り、前回の委員会で皆様から質問があった、義務教育学校や複式学級のメリット・デメリットについても事務局から説明していただきます。昨年度の積み重ねの上に、今年度の議事が進むことを願います。

新聞報道等でご存じだと思いますが、現在、熊本市庁舎建て替え計画が、当初の予算を大きくオーバーして再審議の運びとなっています。私はそちらの審議の検討委員会、子部会にあたるワーキングにも関わっており、そちらの委員会でもこれからの少子化、人口減少の中、政令指定都市である熊本市の庁舎にはどのような役割が求められるかということで、ワーキングの比較的若い委員の方々と一年間かけて活発な議論をしました。大事にしたのは、これからの熊本市の行政が果たす市庁舎の役割ということで、結果、求められる内容が多すぎて、物価高騰も重なって予算が非常にオーバーした、ということです。予算、人材の問題、人口減少の制約条件の中で、どこまで求められる機能が必要なのかという視点も必要だったな、と反省もしています。人吉市のこれからの学校教育のあり方、人口減少、子ども達の数の減少は人吉市でも待ったなしという状況だと思います。そうした中で、子ども達が人吉市のこれからの支え、さらには人吉市の外により深い学びや働き場を求めて飛び立っていったとしても、様々な他地区の子ども達、場合によっては世界と肩を並べて、胸を張って競っていく力を育てるためには、今、人吉市でどのような教育力、学校の姿が必要なのかということが求められていると思います。昨年度の会議では、学校の適正規模に焦点を当てた議論が行われてきたと思いますが、その背景にあるのは、これから先、人吉市に求められる教育の望ましいあり方、子ども達のために大人はどのような環境を整えられるのか、という議論だったと思います。審議の時間は限られていますが、これからの人吉市における教育の姿、どのような姿が求められるのか、引き続き、熱い議論を期待申し上げる次第です。本日はよろしくお願いいたします。

3 人吉市教育委員会あいさつ

志波 教育長

本日はご多用の中にご出席いただき、ありがとうございます。本年度も早いもので、5月に入りました。来週は中学校、第三中学校は大畑小学校と合同で体育大会が予定されています。放課後は一中の方からドラム缶を叩く音が響いてきて、子ども達が一生懸命に練習している姿が想像でき、活気ある学校教育が展開されているなど思っているところです。この検討委員会では、児童生徒数が減少している中で、学校教育の質の維持・向上のために、これから人吉市の学校はどうあるべきかということを経験者の方々や保護者の皆様、学校の先生方、行政も含めて真ん中に子どもをおき、みんなで手を取り合って、しっかりと学校教育を支えていくところが非常に大切だと思います。そういう意味でも、それぞれの代表の方々の知恵をいただいて、今後の人吉市の学校教育、学校のあり方をしっかりと考えていければと思っています。本年度は本日が1回目となり、初めてこの会にご出席いただいている方もいらっしゃると思います。議事にある昨年度の振り返りも含めて、そこからスタートしていければと思っています。お忙しい中とは思いますが、皆様の力をぜひ貸していただければと思います。よろしくお願いします。

4 議事

杉本 係長

それでは議事に入ります。ここからは、人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例第3条第2項より、八幡委員長に議長を務めていただきます。議事の進行をお願いします。

八幡 委員長

議事に入ります。本日の議事は資料にあるように5つありますが、今年度から初めて委員になられる方もいらっしゃると思います。まずは昨年度、前回までの会議の概要を振り返っていききたいと思います。事務局より、お願いします。

(1) 前回までの振り返り

鵜口学教課長

〈資料P1より説明〉

(2) 前回までの質疑等に対する回答(説明)

ア 「義務教育学校」と「小中一貫校」

義務教育学校と設置する場合のパターン

イ 複式学級のメリットとデメリット

ウ あさぎり町立あさぎり中学校開校時の状況

新宮 審議員

〈資料P2～7より説明〉

八幡 委員長

あさぎり町立あさぎり中学校について、発足時のクラス数や生徒数、1学年何クラスくらいだったかなど、もしわかれば教えてください。

新宮 審議員

クラスはおそらく5から6クラスだったと思います。

- 八幡 委員長 そうすると、以前5校が分割していた時は、それぞれの学校1クラス程度の状況で、合併することによって適正規模が実現した、と。
- 新宮 審議員 免田中学校だけは複数クラスあったと思いますが、それ以外の学校は1クラスずつだったと記憶しています。
- 委 員 複式学級のメリット・デメリットの話がありましたが、今大畑小で実際に2・3年生が複式学級となっており、大畑小の保護者の方もいらっしゃるので、実際の声を聞きたいです。
- 八幡 委員長 では、大畑小のPTAの方に意見をお聞きしたいと思います。お願いします。
- 委 員 大畑小PTAからです。現在、複式学級がスタートしてひと月ほど経ったのですが、子ども達に聞くと、すごく楽しいと言っています。2学年合わさると人数も増えるので。保護者からは、学習が遅れるのが心配という声、予習、復習ができるのでお互い学力が上がるのでは、という声も上がっています。まだひと月なのではっきりとはわかりませんが、子ども達は楽しくやっています。
- 委 員 担任の先生はとても大変そうです。2年生と3年生、人数が少なくてもやることは同じなので、担任の先生は2学年分の教材を揃える必要がある。話した時は「大変だけれど楽しい」とおっしゃっていました。子ども達の学力が上がるのも下がるのも、個々の先生の能力次第なのかな、と思います。
- 八幡 委員長 子ども達が学ぶ順序性やカリキュラムを考えると、複式学級には悩ましいところがあるかもしれないですね。

(3) 児童生徒数・学級数・教職員数の直近3か年推移と人口推計

鵜口学教課長 <<資料P8～17より説明>>

(4) 意見交換

< 午後3時00分より 午後3時20分まで >

(5) 質疑応答

○A班

- 委 員 A班では、少子高齢化の進行や少子化の歯止めになる政策が必要なのではないか、そもそも子どもを育てやすい環境づくり、産みやすい環境づくりが根底にあり、そこが本当の改善すべきことだろうけれども、というところから学校のあり方に話題を移していきました。事務局の説明にあった児童生徒数の推移や今後の人口の推移等を見ると、現状のまま進めていくのは教育の質の維持・向上のためにも、統合は避けられないのではないか、ということで中学校の統合が話題に上がりました。どのように統合を進めていくかは今後議論を深めていくとして、小学校は地域との繋がりも多いので現状維持、ただ、複式学級のメリット・デメリット等を考えると、今後そのようなことについていろいろな話が出てくるかと思いますが、課題が出てくるのであれば検

討が必要ではないかという意見でした。

○B班

委

員

説明にあったように、児童生徒数の大幅な減少が先々待っているということで、ずっと先のことを考えた再編が必要ではないか、というところが一番でした。そこで義務教育学校と小中一貫校というパターンではどうなのか、或いはそれをしないパターンはどうなのかという意見も出て、先のことを考えると、資料3ページ、義務教育学校を設置する場合のパターンでいうと、小規模校のよさを残していきたいところですが、適正規模で考えたときに、パターンAとパターンBは近い将来また再編が訪れる、パターンCだと先々まで行けるのではないかという意見が出ました。ただ、義務教育学校と小中一貫校では、原則として教員が小中両方の免許を持っておかななくてはならないことになっています。実際、両方の免許を持っている先生は少なく、人吉西小20名の先生方のうち、両方持っているのは5名ほどです。義務教育学校となった時に、両方の免許を持ったスタッフをしっかりと確保できるのかという心配や懸念があり、これから義務教育学校が増えるにしたがって、そちらにどんどん小中免許を持った先生方が集まっていくので、これから新しく先生になる人達が意識を変えて、小中両方持っていた方がいい、ということも含め、新しい先生方への育成も考えていく必要があるかなという話も出ました。また、義務教育学校や小中一貫校ではない形ならば、5・6年先には中学生が600人になるということなので、1校になるのかな、という意見も出ています。ただ、小学校が6校で、資料のデータを見ると1クラスのところが多い。やはり最低2クラス以上あるような合併、2クラス以上あると教科担任制ができる。今、国や県の方も言っている、小学校でも教科担任制を導入して、中1ギャップの解消や指導力向上に向けた専門性の向上、子ども達の学力の充実に向けて、2クラスあればそういったこともできるのでは、という考えもあります。近い先ではなく、もっとずっと先を見据えた再編が必要なのかなというところで、意見が出ました。

○C班

委

員

C班はいろんな意見が活発に出ました。まず、どうすれば子どもの数が増えるのか。あと、一番想像しやすいのは資料3ページのパターンBかな、と。しかし、小学校は地域に根差した部分が多いので、そこはやっぱり残したい、という意見がありました。そこでどうやったら再編できるかと考えたときに、中学校を統合してカルチャーパレスを壊してそこに建て、体育館をスポーツパレスにするのはどうか。PTA会長を務め、小学校は地域とのつながりが大きいと感じており、私自身も人吉西小を卒業し、今は子どもが通っておりますが、やはり地域の方々の存在がありがたいです。統合するならば中学校、小学校はそのままで、という意見でした。

委員

OD班

4人の班メンバーで1人、4月から新しく加わられた方がいらしたので、過去3回の流れをお話しました。1回目は学校の規模や建物の老朽化、人口減ということで、全く何もわからないままの論議だったということ、2回目は一中、二中、三中と各校区ごとにグループワークをして、三中校区の方々より、やはり三中校区が統廃合の対象になってくるのかなという話題が出て、3回目の論議で非常に活発な意見交換が出来て、そこで中学校は1校にしよう、小学校は地域で子ども達を育てようという意見もそれぞれの班から出てきました。その中で、義務教育学校や小中一貫校という名前が出てきたので今回事務局より説明していただきました。今日初めて参加された方が義務教育学校という言葉が出てきて驚いていたようで、その方が言われたのは「人吉市で義務教育学校というのは似合わないような感じがする」、と。近隣の水上、球磨村、相良、五木などは小さいエリアの中の自治体で、中学校が1校、小学校が1校か2校という形でまとまっているから義務教育学校というのはぼんやりとでもわかるけれども、各学年2クラス程度の義務教育学校を想像すると、人吉市で義務教育学校となった場合は学校の規模がかなり大きくなるので、ちょっと似合わないのではという部分ですね。中学校はエリアを広げても子ども達は自力通学できるし、自力通学できなかったらあさぎり中学校と同様にスクールバスを準備するなどに対応出来ると思います。ただ、小学校は難しい。現在も小学校によっては家までタクシーが迎えに来るような子どもがいる。そのような子ども達がかなり増えると思うし、通学に負担がかかる状況では大変だと思うので、小学校は通えるエリアということが原則ではないだろうか。小学校については将来吸収される学校もあるかもしれないが、できるだけ残した方がいいのかな。学校施設の老朽化については、教育施設がしっかり整った中学校を1校だけ作って、そこを拠点化していく。小学校はなんとか改修工事を行いながら子ども達の教育環境を確保する。まずは地域で育てることを中心に置いて、施設は修繕しながら保全するというスタイルでいくしかないのではないか、という話でまとまったところです。

OE班

委員

E班ではそこまで活発な意見が出なかったです。前回の会議で出し尽くして、今回の資料3ページ、パターンA、B、C、統廃合含めた形で提案してあったので、そこから選ぶという形で話を進めました。現状、パターンBが現実的ではないかと思うのですが、中学校を1校に統合するのであれば、建物も老朽化しているのでどこかに新しい校舎を建てるといいのかな、と。案としては、先ほども出たカルチャーパレスの場所に建てる、もともとそこに二中があったけど、水害等の絡みがあって村山台地に移したという話を聞いて、では別の場所でどこが候補地をと考えて、大畑校区で石野公園あたりではどうか、と。その話の中で、統廃合に際してはスクールバスを使うこともあるだろうけれど、今でもスクールバスに乗り遅れてしまったりという場合

もあるようなので、現保護者だけでなく次の保護者、今子ども園・幼稚園・保育園に通っている子の保護者にもアンケートを取ったほうがいいのではないかという意見がありました。今はQRコード1つ、あるいはURLを飛ばすといった形で簡単にアンケートが取れるので、現在の保護者、教職員、こども園や保育園などに関係する方々、あと住民意見交換会の時にもアンケートを取っていただければいいなと思います。

八幡 委員長

5 本日の総括（委員長）

私は前回、第3回の議論の時は義務教育学校という意見が強かったような受けとめをしていたのですが、事務局からの説明・提案を受け、資料3ページのパターンA・B・Cのどれがいいだろうかという形でグループディスカッションを進めた班もあり、5つのグループそれぞれの意見を伺ったところ、中学校についてはある程度、全市民的な見地からまともでもよいのではないかと、思いました。小学校は、地域とのつながりを充実すべきではないかという意見が多かったように思います。これからの人吉市の将来像、人口変動も踏まえて、子ども達の教育をどうすればいいのかということに関しては、この場の委員の皆様はもちろん、幅広く全市民的な立場で、どうあればいいのかという議論を広げていく必要もあるだろうと思いつつ拝聴していたところです。いつかの段階で事務局より、人吉市の学校はどのようにあればいいのか、皆様の意見を踏まえての案が提示されるのではないかと思います。そのたたき台として、本日皆様からいただいた意見を生かしていけると良いなと思った次第です。貴重な意見をありがとうございました。

鵜口学教課長
委 員

（1）令和8年度の委員会開催等スケジュール

《資料P18より説明》

今配られている住民意見交換会のチラシをそのまま配るのならば、あまりにも漠然としていて意見交換会で意見が出にくいのではと思います。私達は4回も会議に出席し、教育委員会の方も中身をわかっているからこのチラシでもわかると思うのですが、例えば1行目、少子化のことはいいけれども「市立学校のあり方について検討しています」とある。どのようなあり方なのか、このような意見を求めます、と地域住民がもっと意見が言いやすいように表現を工夫してほしい。説明はすると書いてありますが、あまりにも漠然として捉えにくい表現で書いてあると思います。これから先、子どもがお世話になるような世代、就学前の子どもがいる方へのアンケートを取って見たらどうかという意見もありましたが、いろんな方が意見を言いやすいように、少子化のことを踏まえて、今後の人吉市のあり方としてどのようなあり方など、そういう文言を少し付け加えてもらおうと意見が述べやすいし、頭の中でイメージしやすいと思うので、もう少し噛み砕いた表現を使ってほしい。人吉市は課題を抱えてい

八幡 委員長

ることがわかるようにですね。地域住民代表者も保護者も意見が述べられるような形になるといいなと思いました。必要なことだと思いますので、工夫をお願いします。

貴重な意見をありがとうございました。このような機会が設けられるのであれば、ぜひこれからの子ども達のために参加して、意見を述べてみたいと住民の方に思っただけのような周知の工夫をしていただけると非常にありがたく思いますので、どうかよろしくをお願いします。

杉本 係長

7 閉 会

それでは、これもちまして令和8年第4回人吉市立学校のあり方検討委員会を終了いたします。本日はご参加ありがとうございました。

< 午後4時00分 閉会 >